



和田っ子通信

令和6年度 No. 2
 福井市和田小学校だより
 発行日 令和6年 5月30日(木)
 〒918-8238 福井市和田 1-2-1
 TEL:22-8817 FAX:22-6121

週に2～3回、和田小学校での出来事を和田小ホームページのブログで配信中

[和田っ子 WEB 日誌 \(mitelog.jp\)](http://mitelog.jp)



がんばった皆さんに 拍手👏👏

5月19日(日)に和田地区民体育祭及び本校の春季体育大会が無事に終わりました。子どもたちを万全の体調で送り出してくださった保護者の皆様、準備から運営まで会を支えてくださいました地域の方々に深く感謝申し上げます。

先日の全校朝礼では、子どもたちの体育大会のがんばりについて話をしました。「最後まであきらめずに」「力を合わせて」取り組んだことや友達や地域の人に対して心から応援したことなど、和田っ子のよさを実感した1日であったことをまず伝えました。その後「他に頑張っていた人はいないでしょうか?」と投げかけたところ、子どもたちは様々な人たちの名前をつぶやき始めました。私(校長)は当日の写真を見せながら、体育祭を裏で支えたり盛り上げたりしている人がいることを伝えました。PTAバザーを運営した保護者の皆さん、会を安全にスムーズに進行した地区のスタッフの方々、音楽で盛り上げてくれた中学生……。子どもたちは、和田っ子の頑張りの裏側には多くの人の頑張りがあったのだということを改めて知りました。これを機に、日常生活の中でも、子どもたちが安全で楽しい毎日を送っていくために多くの人の力があるのだと気付いてほしいと願います。

ホームデーについて



6月の毎週木曜日を全校一斉に宿題を出さない日とします。

学年だよりの行事予定に「ホームデー」と書かれていたのにお気づきでしょうか。6月の1カ月間、毎週木曜日は全校一斉に宿題を出さない日とします。子どもたちに時間と心に余裕が生まれます。「ホームデー」は自分で(家族で)考えてよりよく過ごす日です。教科の学習が好きな子は勉強してもよいですし、家族とのふれあい、読書、スポーツ、趣味の時間にするなど自分らしい過ごし方をしましょう。日頃忙しい子にとっては休日とするのもよいでしょう。ぜひ、過ごし方を家族で話し合ってみてください。



また、教員にとっても、翌日の金曜日は宿題のチェックの時間(本校では1日あたりの宿題に関わる業務時間は40分～1時間です。丸付けや直しの指導は、休み時間や放課後等に行っています)が減ります。その時間を有効に使い、子どもたちとふれあう時間をいつもより多く取りたいと考えています。子どもたち同士、子どもたちと先生の絆づくりに努めます。どの子にとっても有意義な「ホームデー」となりますよう、ご理解とご協力をお願いします。

令和6年度のスクールプランです。このプランに基づき、和田小学校を運営して参ります。



令和6年度 福井市和田小学校スクールプラン

【福井市学校教育目標・方針】

- ・郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成
- ・学びをつなぐ・未来につなげる～「つながる」を大切にしたい学校～

【成和中学校区教育目標】

主体的に行動し、共に学びをつなぎ合う児童・生徒の育成

校訓 自学・協和・実践

◆学校教育目標◆ 未来を拓き、たくましく生きる子の育成

【児童の実態】

- ・明るく素直
- ・言われたことに真面目に取り組む
- ・新たに挑戦する力が弱い
- ・自分の考えを他者に伝える力が弱い

【めざす学校】

児童：安心して笑顔で楽しく通える学校
保護者：安心して通わせることのできる学校
地域住民：誇りに思える学校
教職員：働きがいのある学校

【めざす児童像】

進んで学びよく考える子
笑顔で助け合う子
めあてをもってがんばる子

【研究主題】 学ぶ楽しさを実感し、自分の考えを豊かに表現する子の育成 ～共に学び合い、支え合う温かい集団をめざして～

わかる授業づくり

- ◎学ぶの楽しさを実感できる授業
 - ・自分の考えをもち、他者（友だち・先生・資料など）と対話しながら学ぶ授業
 - ・一人一人の考えを表現する場を工夫する授業づくり
 - ・ICTの効果的な活用
- 学習の習慣化
 - ・学習ルールの定着・ICT技能の向上（一覧表の活用）
 - ・学年に応じた家庭学習の工夫（パワーノートの活用）
 - ・読書活動の推進
- ◆授業がよくわかり楽しい（児 95%）
- ◆考えを説明したり文章に書いたりしている（児 95%）
- ◆ICT機器を利用した授業づくり（職 100%）
- ◆学習活動における回答室（回答）の利用（年間 10 回以上）

居場所づくり・絆づくり

- ◎一体感のある学校・学級づくり
 - ・みんなでやると楽しいと感じる活動の工夫
 - ・心の通い合う集団づくり（ポジティブ教育）
 - ・違いを認め合う人権教育の推進
- 児童の安全・安心を支える体制づくり
 - ・いじめ・不登校の未然防止・初期対応
 - ・特別支援・教育相談のチーム対応（SC・各種支援員・関係機関の有効活用と情報共有）
 - ・危機管理能力を高めるためのヒヤリハットの共有
- ◆みんなと何かをやるのが楽しい（児 95%）
- ◆いじめを見たら止めたり知らせたりできる（児 95%）
- ◆先生はよい点やがんばっている点をほめてくれる（児 90%）
- ◆子どものことで気軽に相談できる（保 95%）

子どもたちの

家庭・地域との連携

- ◎パートナーシップで進める子どもの育成
 - ・地域人材や素材を生かした活動の実践
 - ・つながりを意識したあいさつ運動
 - ・各種団体との連携による登下校安全体制
- 生涯教育の視点を生かした活動
 - ・園小接続・小中連携を生かした交流活動
 - ・キャリア教育の視点を意識した授業づくり
 - ・規則正しい生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん・スマートルール）
- ◆地域や郷土福井を大切にしている（職 90%）
- ◆様々な人へのあいさつ（児 95%）
- ◆食育や健康な体づくり（保 95%）

幸せのために

チーム和田をめざして

めざす教職員像

- ・心理的安全性の高いチーム
- ・自ら学び続け、自己の成長を実感
- ・協働してよりよい方向へ向かう

業務改善の取組

- ・会議は1時間以内（+30分）
- ・時間外労働を減らすための起動時間の管理
- ・文書のペーパーレス化（Teamsの活用）
- ・ワークライフバランスを意識した働き方の推進（休暇の取得方法等）
- ◆何でも相談でき、明るく働きやすい職場（職 95%）
- ◆周回の職員との連携・協力（職 95%）

Community

Challenge

WA

Care

Choose